

記載上の注意

1. 履歴書の記載について

- イ. 学業については、小学校入学より最終学校に至るまですべて入学、卒業とともに記載し、その学校における修業の年数を明示すること。
 - ロ. 免許状及び業務については、年次順に記載し、免許状についてはその種類及び番号を記載すること。
 - ハ. 教職における在職年数を申請の要件とする者にあつては、採用退職の年月日又は休職期間を特に明示すること。
- 二. 給与関係は記入を要しない。
- ホ. 履歴書の末尾には、記載事項について相違のない旨の所属長の証明を付すこと。
(現職でない場合は、記載事項に相違ない旨、年月日及び氏名を記入し、印を押印すること。)

2. 履歴書の記載例

年月日	学業、免許状、業務	発令者	年月日	学業、免許状、業務	発令者
昭55 4 5	〇〇小学校入学		令〇 〇 〇	現在同校勤務中	
昭61 3 20	同校卒業			上記のとおり相違ないことを証明する	
昭61 4 5	〇〇中学校入学			令和〇年〇月〇日	
平1 3 20	同校卒業			〇〇中学校長 〇〇〇印	
平1 4 5	〇〇高等学校入学				
平4 3 20	同校卒業				
平4 4 5	〇〇大学〇〇学部〇〇科入学				
平8 3 25	同校卒業				
平8 3 25	学士(〇〇)の学位を授与される				
平8 3 25	中学校教諭一種免許状(国語)を受ける 平7中1第0078号	大分県教委			
平8 4 1	〇〇中学校教諭に補する	大分県教委			

3. 履歴図表の記載について

- イ. 実修業年数の欄には1のイにならって、それぞれの学校の実修業年数の和を記入する。
- ロ. 在職年数の欄には1のハにならって通算された在職年数を記入する。

4. 履歴図表の記載例

履歴図表							
実修業年数	16年	小	中	高	大	家庭	中学校
在職年数	年	6	3	3	4		